

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	神奈川県		※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。			
提案プロジェクト名	環境共生モデル都市「ツインシティ」の整備推進		※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。			
都道府県名	神奈川県		※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。			
対象地域	市町村名 平塚市、寒川町		※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。			
① 関連する分野	環境（低炭素・省エネ） 超高齢化（環境と共生したライフスタイル） その他（）		※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。			
② 将来ビジョン(環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標(2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿))	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。					
<p>環境共生モデル都市「ツインシティ」は、寒川町倉見地区と、相模川を挟んだ対岸の平塚市大神地区を新たな橋(ツインシティ橋)で結び、川の東西地区を一体として環境と共生する都市を形成するものである。</p> <p>この都市のめざす都市像は、以下のとおり。</p> <p>①「地域環境と共生し、地球環境にやさしい環境共生都市」として、相模川の河川空間や周辺の農業・田園空間などとの共生を図るとともに、省エネルギー型、低炭素の環境負荷の小さい地球にやさしい都市となること</p> <p>②「新しい産業を創出・育成する都市」として、都市圏内に集積している先端産業、都市農業、流通関係産業等のさらなる高度化、多様化を支援する機能誘導を図るとともに、環境や情報などの分野での新しい産業を育成する都市となること</p> <p>③「新しい生活スタイル・ワークスタイルを実践する都市」として、高度情報化社会、少子高齢化社会に対応した新たな生活スタイル、ワークスタイルを実践する都市となること</p> <p>④「広域的な交流と連携の窓口(ゲート)となる都市」として、多彩な自然や、産業の集積、大学の立地が多いなどのポテンシャルを活かし、我が国でも希な交通要衝地帯となるとともに、利用しやすい公共交通の整備推進やその結節点におけるスムーズな乗り換えを確保し、歩行者・自転車車の通行を優先する交通システムが形成された交流と連携の窓口となること</p> <p>以上の都市像を踏まえた「3つの価値の創造」に係る目標は次のとおり</p> <p>【環境価値】自然エネルギーの積極的な利用のほか、太陽光発電システムと燃料電池の組み合わせ、エネルギー供給を管理する住宅街区や公共交通を積極的に活用することにより、CO2排出量の低減等が図られた環境負荷の少ないまちづくりモデルの実践</p> <p>【社会的価値】住民・地権者等が主体となるエリアマネジメント組織による、「生涯住みつけたい街」の取組みの実践により、環境共生型ライフスタイルの創造</p> <p>【経済的価値】最先端研究機関や大学のサテライトオフィス等の集積による、世界に例のない環境共生型技術・システムの発信拠点の創出</p>						
③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方)	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。					
<p>ツインシティの整備については、県と地元自治体等が策定した「ツインシティ整備計画」に基づき、県民・企業・行政の3者が協働して都市づくりを行うこととし、現在は、面整備に向けて都市計画決定を目指しているが、具体的な取組は以下のとおり。</p> <p>①「地域環境と共生し、地球環境にやさしい環境共生都市」のために、ツインシティではクリーンなエネルギーを生産・活用することを目指すとともに、建物のパンプソーラー機能の向上等を図り、省エネルギー及び低炭素都市づくりを推進する。民有地緑化の推進と水と緑のネットワーク形成、ヒートアイランド現象の緩和、環境共生交通システムのためのインフラ整備、資源循環によるリサイクルなどを進める。また、ツインシティで取り組む環境と共生する街区やまちづくりをショウケース化し発信する。</p> <p>②「新しい産業を創出・育成する都市」として、ツインシティの顔となる施設(文化施設、研究施設等)や研究所を誘致し、企業・大学と連携する戦略を進める。そして、ツインシティが海外の研究機関等にとって魅力を持ち進出するようなまちづくりを進める。</p> <p>③「新しい生活スタイル・ワークスタイルを実践する都市」として、高度情報化、人口減少、少子高齢化に対応したまちづくり、災害に強いまちづくりを進める。</p> <p>④「広域的な交流と連携の窓口(ゲート)となる都市」のために、面整備の実施(平塚市大神地区と寒川町倉見地区で土地区画整理事業の実施)、トランジットモールなどの区域内の骨格道路の整備、周辺地域からの新たなアクセス交通・道路の整備を進める。</p> <p>このほか、バスなどの公共交通を主体とした集約型の都市とすることや環境と共生する企業等を積極的に誘致すること等により、環境共生都市のモデルとして「ツインシティブランド」を国内外へ発信していく。</p>						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	環境共生(水・緑のネットワーク)	住宅地などの緑化や事業所などの建築物の壁面緑化、屋上緑化を促進する。また、相模川や丹沢・富士を望む田園風景を保全し、活用を図るとともに、水辺空間と緑の保全・整備を行う。さらに道路等の公共施設の緑化などにより、水と緑のネットワークを形成する。 また、戸建て住宅街区において、燃料電池と太陽光発電システムを街区ごとに設置し、エネルギーの共有化及び一元的管理により住宅街区におけるCO2排出量削減を図る。	事業の進捗にあわせて実施	県・市・町、企業、県民	環境	○
(2)	産業創出(先端産業等の誘致)	交通利便性を生かし、大学や企業の研究施設等を誘致し知の結集を図る。	事業の進捗にあわせて実施	企業・大学	環境・経済	○
(3)	生活スタイル(エリアマネジメント)	良好な住環境・資産の維持管理、向上を図るため、住民が自分のまち(エリア)を自分でつくり育てていくため、エリアマネジメント組織の設置運営を行う。	事業の進捗にあわせて実施	県・市・町、企業、県民	環境・社会	○
(4)	交通アクセス(骨格道路)整備	ツインシティの骨格となる道路を整備することにより、交通の整量化を図るとともに、ツインシティ橋の公共交通部やトランジットモールなど、一般車両の通行を排除する道路を整備することにより、公共交通の利用促進を図るための取組みを開始する。 あわせて、ツインシティへの道路を整備して、長期的な展望のなかで理想的な道路ネットワーク形成に向けた取組を進める。	事業の進捗にあわせて実施	県・市・町、企業		
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。					
<p>燃料電池と蓄電池及び太陽光発電システムを組み合わせた小規模で、効率的な環境負荷の少ない発電及び供給システム 地元住民等によるエリアマネジメントの実践による、環境と共生するライフスタイルモデルの創出 ツインシティの中央を流れる相模川などの地域の小規模の水、風力を利用したクリーンエネルギーの活用</p>						